



志村第一小学校コミュニティ・スクール委員会だより

〈家庭数配付〉

令和5年9月19日

板橋区立志村第一小学校

校長 湯本 正雄

第3回コミュニティ・スクール委員会が令和5年9月16日（土）に開催しましたので、次のとおり実施状況を報告します。

1 学校長より

- 今日は宮本睦町会のお祭りがあり、後ほど、校長・副校長・主幹教諭でお伺いさせていただきます。
- 道徳授業地区公開講座では、道徳授業を公開します。その様子を見て、協議会でご意見・ご感想をいただければと存じます。また、保護者も交えた意見交換会の場にも後ほど案内いたしますので、ご意見等くださればと存じます。



【道徳授業の様子】

2 協議会の様子 熟議テーマ「いじめ防止に係る取組の充実について」

コミュニティ・スクール委員の皆様より、本日の授業や学校の取組の更なる充実について、次のようなご意見をいただき、意見交換をしました。

（**玉田委員長より**）学校で大きな事故等が無くよかった。2学期も充実した取組をしてほしい。保護者との熟議も楽しみにしています。

（熟議で出たご意見）

- 学校全体で一貫して伝えたい内容は一致している。ただ、いじめは、謝れば許してあげるといふようなきれいごとだけでは解決できる問題ではないのではないか。理想論も大切ではあるが、子どもたち同士で真剣にぶつかって、人間臭く解決する力も付けてほしい。
- 寅さんの生き方から学ぶのも良いかもしれない。
- 2年生の授業では、実際にあった生活場面の事例を挙げ、考えさせていた。子どもたちには、多くの場면을提示し、考えさせていくことが大切ではないかと思えます。大人の世界には様々な人がいるので、いじめは絶対に許されないと知らない子もいるということもこれからの社会で生き抜いていく上でも認識させてほしい。
- 各学級の様子を見た。子どもが大変頑張っていた。いくつかの学級で構造的で、視覚的に分かりやすい板書をしている先生もいた。このような実践を学校全体でできるようにしてほしい。
- いじめの4層構造などを理解させる実践を他校で見してきた。子どもにとって分かりやすい授業を提供してほしい。
- 昔は陰険ないじめは無かった。一対一でやり合う状況であった。ただ、いじめで不登校になる事例もあった。苦しい人生を送ることになってしまう。このような事態は絶対に許されない。
- 今日の授業は、子どもたち同士で話し合っている様子が見られ、大変良かった。
- 自身の体験したことを語る先生の姿に、子どもたちは真剣に聞いていた。実体験等も取り入れるなど、現実を意識させる工夫をしてほしい。

コミュニティ・スクール委員の皆様には、道徳授業地区公開講座の意見交換会にもご参加いただきました。子どもたちの豊かな心の育成に向け、今後も学校、家庭及び地域が一体となった取組を進めていきます。